



「健康は気配りから」

1月22日、第85回久慈医学談話会地域医療連携部会（部会長・吉田徹 県立久慈病院外科長）主催による講演会が村保健センターで行われました。

同講演会には各地区から約70人が参加。県立久慈病院の福田宏治耳鼻咽喉科長の「のどの症状と病気に

ついて」と、立野健太診療放射線技師による「放射線検査を受けるあなたのために」と題した講演は、スライドなど、映像を使って詳しく説明（写真）。参加者たちは真剣なまなざしで聴き入っていました。

病気は、ちょっとした気配りで早期発見につながります。健康で長生きするために「おかしいな」、「いつもの体調じゃないな」と感じたら、面倒がらずに受診しましょう。

無火災の誓い新た



敬礼する深渡村長

命を一層確認し合い、日々精進していただきたい」と訓示。服装や機械器具の点検のあと、団員、婦人消防協力隊員、久慈消防署普代分署員らと消防車両十一台が村の中心街を分行進し、村民に火災予防を訴え、消防団の意気を示しました。

一月五日、村消防団（佐藤喜一団長）の出初め式が、役場前広場を主会場に行われました。消防団員九十八人、婦人消防協力隊員四十五人が参加。今年一年の無火災を祈りながら、消防団の団結を示しました（写真左）。

総監の深渡宏村長は「村民の生命、財産を守る使

年始め生き生き交流会は、一月二十六日、村老人クラブ連合会（野崎幸太郎会長）と普代村デイサービスセンター（野崎貞信施設長）主催で、特別養護老人ホームうねとり荘を会場に行われました。同交流会は、老人クラブ連合

年始め生き生き交流会 長寿の喜び実感

会員ら約二百人が出席。伝統芸能の鶴鳥神楽、恵比須舞、写真右下、や大野手踊りの会の方々による手踊りで、楽しいひとときをすごしました。深渡宏村長は「一日一日を楽しく大事に生きましよう」とあいさつ。



万歳三唱で「長寿」願う参加者たち

四月から十二月までのデイサービスに休みなく通った利用者六人に、普代福祉会理事長でもある野崎会長からうれしい皆勤賞が贈られました。皆勤賞受賞者は、次の方々です。敬称略

熊谷貞子（九〇・中央区） 大上チャウ（八九・太田名部） 宮本マサノ（八〇・堀内） 紋座フサヨ（七五・萩牛） 小正路邦光（七三・黒崎） 小関善栄（六八・茂市）

